

校長室だより No 26

2019年3月7日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津健志

「2020年教育は変わります 学習評価が変わります」

2020年から新しい学習指導要領での教育が始まります。

「学力の3要素」というものがあります。○知識・技能、○思考力・判断力・表現力等、○主体的に学習に取り組む態度、の3つです

今の学習評価はこの3要素を、▽知識・理解 ▽技能 ▽思考・判断・表現 ▽関心・意欲・態度、の4つ観点で評価しています。

新指導要領は、全ての教科等で ◎知識・技能 ◎思考力・判断力・表現力等 ◎学びに向かう力・人間性等、と3つの観点で評価しながら育成しようとしています。そこには、狭い意味での「学力」にとどまらず、情意面も含めて、学校で身に付けた学力を活用しながら社会に出て活躍できる「資質・能力」に高めようという狙いがあります。この3つを次のような力としています。

◎社会で生きて働く知識技能 ◎未知の状況にも対応できる思考・判断・表現力

◎学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力

「学びに向かう力・人間性等」には感性や思いやりといった幅広いものが含まれており、テストや客観的な評価になじまないことから、「態度」で評価したり、個人内の変化＝成長を見取ったりすることになります。

「2019年 通知表の記載方法を変え 個人面談を重視します」

新しい評価が入ってきますので、「新しい酒は新しい皮袋に」の諺が示すとおり、酒井根地区の校長4人で話し合い、全校で通知表という器を次のように変えていきます。

* 総合所見について

1学期は、個人面談でのお伝えを重視します。従って所見は、特徴的な面を記述したワンセンテンスと後半は定型文でまとめ、簡素化します。

例) 社会科の日本の歴史を調べる学習では、様々な資料を活用して自分なりの理解深め、周囲の手本にもなりました。その他の学習や行動の詳細については、個人面談でお伝えいたします。2学期と3学期は従来通りに記述します。

* 道徳の所見

年1回、2学期末か3学期末だけとします。

* 総合的な学習の所見

年1回、2学期末か3学期末だけとします。

* 外国語の所見

外国語は、○コミュニケーションへの意欲関心態度 ○外国語への慣れ親しみ

○言語や文化に対する気づきの3観点について記述する必要であるため、毎学期ごとに観点を分けて記述します。

* 特別活動の記録

顕著な活動があった内容、クラブや委員会、係活動などを記述します。

以上で記述式所見欄が年間15か所記入するところ、8か所の文章記述となります。一人一人の成長を見とる重点や、その子の特徴を保護者の方々と共通理解して指導に生かす場として、夏休み期間中の個人面談の内容充実を図ってまいります。よろしくお願いいたします。